



どうも～。雪国トタンペンキ塗り を勝手に支援してまう

「孤立行政法人トタン葺き推進機構第8ドーパミン調達部古代脳セクション」ですけども～。雪国ではですね、地元の人同士でトタン屋根にペンキを塗りはるねんて。なんでかって？トタン屋根が錆びてまうと、雪がひっかかって地面に落ちんようになってまうからだそうです。昔でいう村人総出の「茅葺き屋根」システムがまだ残ってますねん!!!!白川郷が世界遺産とかゆうて、大騒ぎして茅を葺き替えますやろ？たしかにすごいことですけども、遺産やからちゃんとせな！みたいなよそ行きな感じでしょ？でも雪国のトタン塗りは、ちやいませ。地元の人たちでわいわい塗って、夜ビール飲んで、わー！みたいな。大きなトタン屋根をひたすらペンキでぬってみると異常にたのしいんですわ!!!!!!なんででしょう???「たのしい」ゆう感情は脳のA10神経ちゅうところからでる快楽物質ドーパミン。なぜ人類はドーパミンを出すしくみをつくったか？しんどいはずのマンモス追いかけて行為をクロマニヨン人が一生懸命つづけられたのは、サバイバルな場面で脳に快楽物質がでるように自らプログラムしたかららしいで～。ここだけの話、宗教つくる脳回路もあるらしいですわ…。生活をささえる行為はしんどいから、自分でドーパミンのご褒美をあたえる！とヒトが「エンターテイメント自給率」をあげてきた歴史の痕跡をペンキ塗りに見る!!!!って、トタン塗っただけやのにクロマニヨン人の脳みそまで気にするようになってもうたんです。したら、次に気になるんはクロマニヨン人の先輩、サルに決まりでしょう!!!!ヒトはサルから進化した、みたいに考えてまうけど、そんなことありやしませんで!!!!サル、めっちゃかしこいらしいですよ。野生のニホンザルはね、じつはポストとかいなくて上下関係もなし、誰も飢えない、自由気まま、でもゆるやかに群れるスーパーフラット組織で楽しそうにくらしてはんねん！なんでかって？どうもね、ひとつのことに価値を集中させないのが秘訣らしいですわ。東京のOLちゃんゆうたら石油、石油でしょ？世界中、結局、石油のとりあいですやん？でも、ニホンザルはみんなで争わなきゃいけない仕組み作らんらしい。背の低い子どもザルは地面歩いてる虫食べて、元気なやんちゃ坊主は高い木の実を食べたり。無理せえへん。そのへんに、ヒトの新しい生き方が学べるんではなからうかと!!!!!!だいたいね、ヒトは大昔たまたま二足歩行はじめちゃっただけらしいで。そんでノドが通ってぺらぺらしゃべるようになってもうて、生物で唯一しゃべれる頭いいやつ、みたいに調子のってるけど、ホンマはサルよりアホやぞ。サルはしゃべりはせえへんけど、日本語ががんがんわかってるってゆうし、頭ええねや。さらに知りたいヒトは2008年5月3日土曜日夕方5時、渋谷駅西口バスターミナルより東急バス渋谷32番野沢龍雲寺循環「駒繫神社」で下車してくださいな。斜め向かいトタン家屋で「第1回ホンマはヒトはサルよりアホやぞ審議会」やります!!!!当日は、青春をニホンザル観察にささげたちゅう美人女史も呼びますで!!!!遠くのロハスより近くのトタン。<http://totan.sarashi.com/>でおおきに!!!!お申し込みはtotanfuki@gmail.comまでどうぞ～。

先生あのお

ホンマは

サルより

ヒトはアホ

やぞ審議会



5月31日(土)

17時～

～孤立行政法人

ト月々推進機構